

質 問 箱

問 養鶏において初産時に夜間軟卵を産みますが、この原因と予防法を教えてください。(浅口〇生)

答 ニワトリの卵巣(卵黄が作られるところ)から卵黄が輸卵管内に排卵され、それが輸卵管内を通っている間に卵白やカラザが作られ、イスムス(峽部)を進んで卵殻膜が作られて子宮部に達します。この時間はおよそ4時間半ぐらいかかります。つぎの子宮部で卵殻が作られますがこの時間が、19時間から20時間かかります。それも、はじめの3~4時間はわずかししか卵殻ができません。

このようにしてできた卵が外に放卵(産卵)されるのですが、産卵後約1時間後に、また卵巣からつぎの卵黄が輸卵管内に排卵されます。こうした作用

は一連のホルモンによって支配されています。24時間後とまたはそれ以上の時間ごとに一つずつ排卵されている場合は正常な卵が放卵(産卵)されるのですが、初産の若いニワトリは、卵巣で卵黄が作られるのが盛んなため、24時間以内、すなわち1日に1個以上の排卵がなされた場合、ホルモンの作用でその排卵より約1時間前に子宮内の卵が放卵されることとなります。したがって子宮内の停滞時間が短く、十分な卵殻ができず軟卵ができるものと考えられます。

栄養の欠陥からくる軟卵(カルシウムやビタミンDの不足)でないかぎり、これに対する予防法は、いまのところ考えられません。

(県養鶏試験場・業務課)